

高SSH・探究News

Vol. 23

発行日：令和3年4月27日（火）
発行：山口県立下関西高等学校



第2回山口県立下関西高等学校探究学習生徒研究発表会を開催！

3月19日（金）に、本校生徒の探究活動の成果を披露する第2回山口県立下関西高等学校探究学習生徒研究発表会を開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、開催直前に中止せざるを得なかった本発表会ですが、今年度は、生徒一人ひとりが感染症に留意することにより、規模を縮小しながらも開催することができました。

発表会では、初めに探究科の2年次生を代表して4班（国語班、化学1班、生物2班、家庭班）が発展探究の授業において1年間にわたって取り組んだ課題研究の成果を体育館で口頭発表しました。生徒は、これまで中間報告会や校内発表会で培ってきた経験を生かしながら分かりやすく発表することができました。

口頭発表の後は、体育館、卓球場、旭陵館（セミナーハウス）等に分かれてポスターセッションを開催しました。ポスターセッションでは、普通科の1・2年次生の各クラスの代表が、総合的な探究の時間（本校では、「NCA」と呼んでいます。）に取り組んだ課題研究の成果を披露するとともに、探究科の1年次生が「夏休みディスカバリープロジェクト」の研修成果の報告を行いました。

探究科の2年次生は、すべての研究班が発展探究の授業で取り組んだ課題研究の成果を披露しました。さらに科学部の生徒も発表を行うことにより、およそ60班がポスターセッションで発表することができました。

なお、ポスターセッションにおいて、優れた発表を行った研究班を決定するため、生徒による相互評価を行い、相互評価で選ばれた研究班に、学校長から「優秀賞」が送られました。



ミステリークレイフィッシュについて報告する生物2班の生徒



NCAにおける課題研究の成果を報告する普通科1年次生



夏休みディスカバリープロジェクトの成果を報告する探究科1年次生



NCAにおける課題研究の成果を報告する普通科2年次生



発展探究で取り組んだ課題研究の成果を報告する探究科2年次生



普段の活動の成果を報告する科学部の生徒



4月8日（木）に開催した表彰式

生徒による相互評価で選ばれた研究班

研究班等		研究テーマ
普通科	1年	2組B班 コンビニ大手3社を徹底解析
		3組B班 授業に集中しよう！
	2年	1組D班 日本のパートナーシップ制度
		1組G班 日本ってベーシックインカムでよくないですか？
探究科	1年	2組C班 もし現実にピカチュウがいたら！！
		5組F班 実は賢い！？人とつながる植物の生命力
	6組A班 愛し、愛され、知る、知られる下関	
	2年	化学1班 日本冷却化大作戦 ～吸熱反応を用いた打ち水～
		家庭班 命×食 ～食で命を救うため～

※ 学年・組は、すべて令和2年度のものである。

探究科の第2期生が卒業を迎えました。

3月1日(月)に開催された本校の卒業式において、探究科の第2期生76人が卒業を迎えることができました。第2期生が入学した平成30年度は、本校がスー



卒業した探究科の2期生

パーサイエンスハイスクールの指定を受けたことにより、1期生とはやや異なるカリキュラムによる学習活動が始まりました。今では探究科の行事として定着してきた西高海峡ディスカバリーや夏休みディスカバリープロジェクト、九州大学訪問、立命館アジア太平洋大学訪問は、第2期生とともに作りあげたものでした。本校にとっても初めての試みであることから、入念な準備となっていないところもありましたが、みなさんの創意工夫により、しっかりとしたプログラムとして完成させることができました。新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、2年次の後半からは思い描いていた活動に取り組むことができず、とりわけ、みなさんから始まるはずであった山口県立下関西高等学校探究学習生徒研究発表会は、実施することができませんでした。しかし、卒業後もこうしたチャンスは、数多くあるはずで、探究科で身に付けてきた課題を発見する力、課題を解決する力、成果を表現する力をこれからもより一層高めながら、学びを楽しみ続けることを願っています。

探究学習研究成果発表大会に参加しました。

3月14日(日)に、山口県教育委員会等が主催する第3回探究学習研究成果発表大会が山口県健康づくりセンターで開催されました。例年であれば、探究科の2年次生全員に加え、1年次生から参観希望者を募って、参加する本大会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、各学校の代表者のみが参加して発表し、大会の様子がオンラインにより中継されました。



「本の連濁」について発表する国語班の生徒

本校からは、国語班、化学1班および生物2班の生徒、合わせて9人が参加し、それぞれの研究班が課題研究の成果を披露しました。大会では、大学の先生による審査も行われ、「ホンの連濁 ～「ホン」か「ボン」か～」について発表した国語班が「優秀賞」を受賞しました。

大学が主催する課題研究発表会に参加しました。

探究科の2年次生および科学部の生徒が、山口大学ジュニアリサーチセッションや高校生課題研究発表会(九州工業大学主催)に参加し、研究の成果を発表しました。



高校生課題研究発表会で質問を受ける数学1班の生徒

3月20日(土)に山口大学吉田キャンパスで開催された、山口大学ジュニアリサーチセッションには、探究科の2年次生30人と科学部の生徒20人が参加しました。事前の審査により、科学部の「コラッツ予想」は参加者全員が参観する総合発表で、また、その他の15班は分科会に分かれて発表する一般発表で研究成果を披露しました。

高校生課題研究発表会は、3月21日(日)にオンラインにより開催され、探究科の2年次生27人と科学部の生徒3人が参加しました。当日は、事前に提出した論文やポスターをもとに、大学の先生方から質問があり、参加した7つの研究班の生徒は一生懸命答えていました。

それぞれの発表会では審査が行われ、右表に示した賞をいただくことができました。



総合発表に参加した科学部の生徒



一般発表に参加した公民班の生徒

山口大学ジュニアリサーチセッションで入賞した研究班

賞	研究班	研究テーマ
ベルボリ賞	科学部	コラッツ予想
優秀賞	国語班	本の連濁 ～「ホン」か「ボン」か～
優秀賞	化学1班	日本冷却化大作戦 ～吸熱反応を用いた打ち水～
優秀賞	家庭班	食×命 ～食で命を救うため～

高校生課題研究発表会(九州工業大学主催)で入賞した研究班

賞	研究班	研究テーマ
優秀賞	数学1班	数列の操作 $\alpha\beta\gamma$
アイデア賞	生物2班	ミステリークレイフィッシュは日本の生態系を破壊するのか
アイデア賞	科学部	ゴム鉄砲について